

東京都 スポーツ推進委員だより

第118号

(一社)東京都スポーツ推進委員協議会

2019年7月31日

編集：情報委員会

社員総会



令和元年度 第1回社員総会

令和元年5月18日(土)午後2時30分から文京区民センター2階会議室において一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会 第1回社員総会が行われました。開会の挨拶では新島二三彦会長から元号も変わり、令和の機運を活動に活かしてとの言葉がありました。

東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部地域スポーツ振興担当課長 井内雅妃様からラグビーワールドカップのチケット発売と2020オリンピック・パラリンピックのチケット予約も始まりますとお話があり、日常生活での身体活動もスポーツと捉え、簡単に取り組めるスポーツを紹介した

「TOKYO style 2019」を活用し、健康増進に繋げていただけたらと、ご自身の体験を基にお話しをいただきました。

ご出席いただいた、東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課課長代理 梅村康子様、同じく小坂田みゆ様、調整課主任 北嶋唯様のご紹介と東京都及び各団体の行事開催案内がありました。公益財団法人東京都スポーツ文化事業団 広域事業調整担当主任 小川香様からは2019年度東京都広域スポーツセンター事業案内がありました。

定足数の確認では、出席40名 委任状10名 合計50名で正社員の過半数を満たしており総会は成立しました。定款に基づき新島会長が議長となり議事に入りました。

<議事について>

(1) 第1号議案

事業報告 平成30年度(平成30年4月~31年3月)

【会 議】

- 1) 社員総会
- 2) 理事会
- 3) 各委員会(企画総務・研修・情報・女性・リーダー)
- 4) 平成30年度東京都スポーツ推進委員協議会 会長会
- 5) その他(全国スポーツ推進委員連合・関東スポーツ推進委員協議会)

【事 業】

- 1) 東京都共催事業

- ・広域地区別研修会
- ・課題別研修会
- ・地域スポーツ支援研修会
- ・初級障がい者スポーツ指導員養成講習会
- ・障害者スポーツセミナー

2) 自主研修事業

- ・研修事業
- ・『東京都スポーツ推進委員だより』の発行
- ・顕彰

3) 派遣事業

- ・関東スポーツ推進委員研究大会 東京大会
- ・全国スポーツ推進委員研究協議会 鹿児島県
- ・生涯スポーツ 体力づくり全国会議 2019
- ・スポーツ推進委員リーダー養成講習会

4) 協力事業

- ・東京都生涯スポーツ担当者研修会
- ・東京マラソン 2019
- ・新宿区シティハーフマラソン
- ・全国スポーツ推進委員連合

(2) 第2号議案

収支決算報告 平成30年度(平成30年4月~31年3月)

- 1) 平成30年度収支決算報告
- 2) 監査報告

第1号議案、第2号議案は拍手により採決し承認されました。

(3) 会費見直しについて

近4年の一般会計収支決算の流れ、会費改定理由、会費改正案の説明があり、質疑応答ののち、7月17日に開かれる臨時社員総会で決定することになりました。



社員総会に続き、功労者表彰、永年勤続表彰の授与式が行われました。その後、受賞者を囲み祝賀懇親会が「シビックスカイレストラン 椿山荘」で行われました。

受賞者の皆さま、受賞おめでとうございます！

<永年勤続表彰> (2名) 敬称略

鈴木 けい子 (府中市) 増山 義人 (大島町)

<功労者表彰> (11名) 敬称略

| | |
|--------------|--------------|
| 大川 仁 (江東区) | 金子 裕昭 (中野区) |
| 佐藤 三吉 (豊島区) | 櫻井 淳子 (江戸川区) |
| 加藤 直司 (府中市) | 宮本 孝之 (昭島市) |
| 中澤 悦子 (町田市) | 田中 真知子 (狛江市) |
| 井出 一美 (西東京市) | 今田 麗子 (西東京市) |
| 西村 元 (瑞穂町) | |



記事 白鳥 敏子 情報委員会 (北区)
写真 平野 秀夫 情報委員会 (江戸川区)

社員総会



令和元年度 臨時社員総会

令和元年7月17日18時10分、東京都庁第二庁舎一階 二庁ホールにて定刻通り臨時社員総会(以下、「同総会」と称す)が実施された。新島会長の挨拶の後、定足数の確認がなされ(出席35名、委任状14名 合計49名)、続いて議長の選任、議事録署名人なども確認された。

同総会における議事は、「分担金(会費)見直し」のみであった。

この件に関して、財務の松田氏より以下の詳細な説明がなされ、その後、3名の方からそれぞれ(①具体的な数字を明示して欲しい②身の丈にあった活動をお願いしたい③今後の賛助金の扱いはどのようになるのか)などの質問があったが、最終的に賛成多数で可決となり同総会は定刻通り閉会した。

【詳細】

<会費改定の理由>

- ①一部の有志による賛助金に頼らず、全会員による公平な費用負担で運営できるようにしたい
- ②東京都の最低賃金に合わせた、事務局長及び事務局員の時給値上げの対応
- ③2027年度関東大会東京大会開催、同年、70周年記念誌作成等があり、多額の支出が予想されるため、積立金として予算計上していきたい
- ④消費税10%への増税
- ⑤法人として単年度の活動費分(約600万円)と大口経費分(年間家賃等)は預金として担保していきたい
- ⑥30年以上会費の改定を行っていない。

<会費改定案>

- ① 改定後の会費収入 3,000円(500円の値上げ)
×1,500名=4,500,000円(ア)
平成31年予算の場合のその他の収入(研修会参加費、共催事業管理費、雑収入等)696,000円(イ)

(ア) + (イ) = 収入合計 5,196,000 円
収入合計例 賛助金なしで平成 28 年度並み(例年通り)の事業を行う事が可能となる。

② 会費改定は令和 2 年度からお願いしたい



記事・写真 斎藤 利之 情報委員会(東久留米市)

関東大会



関東スポーツ推進委員研究大会 埼玉大会

令和元年 6 月 7 日(金)・8 日(土) 埼玉県大宮ソニックシティホール他において「彩の国から地域スポーツで社会の絆を！」～みんなで する・みる・ささえる環境づくりを～ を大会のメインテーマとして 1 都 8 県のスポーツ推進委員、行政関係者の方々が集まり研究大会が開催されました。

1 日目のアトラクションは城西大学付属川越高等学校・城西川越中学校の和太鼓「櫂」による力強い演奏と西武台高等学校のバトン部「Briskly (プリスクリー)」による華麗な演技から全体会が始まりました。

1 3 時からの開会式では大会実行委員会副委員長の宮寺敏雄氏の開会のことばで始まり、大会役員の挨拶、来賓の埼玉県副知事飯島寛氏の祝辞、さいたま市副市長高橋篤氏の歓迎のことばなどの後、表彰式が行われました。

受賞者は東京都 8 名、開催県の埼玉県では 16 名の方、合計 86 名でした。

1 4 時 3 0 分からの基調講演は東洋大学陸上部 長距離部門監督の酒井俊幸氏により「その 1 秒をけずりだせ」として、監督就任後は東京箱根間往復駅伝にて優勝 3 回、準優勝 5 回を含む 1 1 年連続 3 位以内という成績を収めるために学生をどの様に指導してきたかを話されました。

東洋大学陸上競技部では、高校時代は無名の選手が殆どというメンバーの構成にも関わらず駅伝で好成績を続けることが出来た要因として、選手の体調管理を挙げていました。高校生は身体の成長が早く骨の強さが不足するので疲労骨折が起きやすい。貧血が原因で成績が伸びない事も多い。また、学生は体力維持と食事代の節約のために高カロリーの食事に偏りがちだが、食育を重要視して、トレーニングメニューと関連性を持たせた食事メニューを作成すると共に怪我をし難い身体づくりを行う事が選手を育てるために必要と話されました。

人材と組織作りの基本原則として①人材育成では、ひた向きに継続することが力をつける最大の近道⇒行動

の習慣化、凡事徹底②組織風土づくりとして、チーム目標、方針、戦略を全員に浸透させる、年齢に関係なく一体感を挙げていました。

選手個人には、結果と育成のバランス、まだまだという謙虚な気持ち、感謝の心を言葉に表す、ミスを隠さずに認める、などの心を持たせる指導を行った。その結果として学生が毎年入れ替わる中で、優勝を目指し高いモチベーションを維持させる。部員の成長が強い組織を作る。自分のチームにプライドを持ち、チームカラーから学び取り入れる。という常勝のチームを作り上げた。

川越市にある合宿所に隣接した練習場での日常の練習風景に箱根、出雲、全日本の 3 大駅伝の映像を交え、選手の活動内容を動画で説明しながら行われ、講演タイトルの「その 1 秒をけずりだせ」は、2011 年の箱根駅伝大会では優勝予想タイムより速く走ったにも関わらず 2 1 秒差で 2 位となった事から、一人ひとりが 1 秒ずつ早く走れば優勝出来るとの教訓を日頃の練習に反映させ、翌年は優勝という強いチームを育てる事が出来た。と感じました。





2日目の第1分科会は大宮ソニックシティホール2階小ホールで、テーマ「地域スポーツの拡大」、コーディネーター 川邊保孝氏(東海大学体育学部 准教授)、発表者 中田むつみ氏(埼玉地区スポーツ推進委員連絡協議会 さいかつぼーる普及会 本部長)、山田博賢氏(さいかつぼーる普及会 事務局長)

第2分科会は大宮ソニックシティビル4階市民ホールで、テーマ「障がい者スポーツとの共生社会へ」、コーディネーター 白石三重子氏(埼玉県障がい者交流センタースポーツ指導担当 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会技術委員会)、パネリスト 岩田茂氏(松伏町スポーツ推進委員)、岡田良訓氏(吉川市スポーツ推進委員連絡協議会会長 公益財団法人ライフスポーツ財団キッズインストラクター)、鈴木章氏(越谷市スポーツ推進委員連絡協議会副会長)

第3分科会はテーマ「さいたまを見る(ウォーキング)」～東京2020オリンピック競技が開催されるさいたま市内をウォーキングで散策～ 大宮駅周辺の名勝を回るコースで(さいたまスーパーアリーナけやきひろば)⇒(造幣さいたま博物館)⇒(武蔵一宮氷川神社参道)⇒(武蔵一宮氷川神社)⇒(鉄道博物館)が行われました。

参加した第2分科会では、埼玉県障害者交流センターの紹介が白石氏により行われた後、パネリスト3氏による発表が行われました。

埼玉県障害者交流センターは東京都の障害者スポーツセンターと同様の活動を行っているが、埼玉県唯一の施設でありながら、所在地が埼玉県東部のさいたま市に有るために、利用者の分布は、県の西部と北部の利用者は合わせても1%未満であるのに対し、さいたま地域では73%を占めている状況でした。

白石氏の講義は パワーポイントによる図表やグラフで説明され、年々障がい者が増加しているが、地域ごとに障がい者が活動できる施設と障がい者スポーツ指導員が必要と話されました。

岩田氏は近隣の吉川市市民プールを利用した障がい者の力又ー教室の紹介でした。近隣の八潮市越谷市との共同で開催し、川口市さいたま市草加市からの参加者もいると話されました。

岡田氏は障がい者スポーツ指導員資格者4名を含めたスポーツ推進委員25名の活動として、小学校の週休2日制に伴って発足した「ふらっとスポーツ」から「GO!スポーツ」に展開し障がい者スポーツを積極的に取り入れた活動状況を話されました。

鈴木氏は障がい者スポーツ指導員資格者4名を含めたスポーツ推進委員30名の活動紹介でした。身体障がい者に対しては少人数で運動好き、知的障がい者には大勢で運動不足解消、という考慮によりスポーツの種目を選び定期的に開催しているが、課題として、大会の資金集め、参加者の拡大、審判のスキルアップ、保護者の協力や組織づくり、などを挙げられました。



記事・写真 小久保 佳昭 情報委員会(八王子市)

第3分科会は「さいたまを見る(ウォーキング)」をテーマに、さいたま新都心駅～造幣局さいたま支局～氷川神社～鉄道博物館を巡る6.5km約2時間の道程でした。

前日梅雨入りして雨予報でしたが曇天の空は絶好のハイキング日和。約700名のスポーツ推進委員の足取りも軽やかに汗ばむほどでした。氷川神社の2kmにも及ぶ真っ直ぐな欅並木の石畳を踏みしめながら、道標に歴史を感じ歩を進めました。

見学時間が短かったのは残念でしたが、さいたまの良さを再確認し、またの機会にゆっくり訪れようと思う分科会でした。

記事 長峰 政子 情報委員会(葛飾区)

〈関東功労者表彰の皆様〉 敬称略



濱谷 佳彦 (世田谷区)



笠松 文子 (東大和市)



清水 友美 (荒川区)



長峰 政子 (葛飾区)



竹嶋 一茂 (瑞穂町)



鶴崎 勝彦 (大島町)



石塚 利郎 (練馬区)



羽田 芳子 (中央区)

写真 才郷 正次 情報委員会 (東大和市)

研修会



ニュースポーツ 研修会

令和元年6月22日(土)午後1時40分から大田区のヤマトフォーラム体育館において、ニュースポーツ「クロスミントン」の研修会が、クロスミントン協会理事長の今田恵美氏(大田区の元体育指導委員)を講師に招いて行われました。雨の中63名の参加者でした。

クロスミントンとは、一言で言うと「ネットの無いバドミントン」です。ラケットとスピーダー(少し小さいシャトルの様な物)を使い、どこでも(屋外でも)行えて、性別も年齢も関係なく、楽しむ事が出来ます。そしてやる気が有れば、すぐにでも世界を目指せるそうです。

コートは、12.8m離れたところに5.5m×5.5mのコートをそれぞれ作り、ネットは無く、お互いのコートにスピーダーをノーバウンドで打ち合うものです。準備も簡単でカラーコーンでも出来ます。

ルールの説明などが有り、準備体操の後、「まずはやってみましょう」となりました。私の場合、思いっきり何回も空振りをしてしまいましたが、上手な方達が速い

スピードで、スピーダーを打ち返すと「ヒュ〜〜」と、とても可愛い音がします。ラリーが続く人達を見ると、目と耳でも多いに楽しむ事が出来ました。梅雨のさ中でしたが、程よい汗と爽やかな気持ちになれたニュースポーツ研修会となりました。



記事・写真 長崎 より子 情報委員会(千代田区)

会長会



会長会

令和元年6月16日(日)午後1時45分より令和元年度東京都スポーツ推進委員協議会会長会が45名の各地区会長の参加を得て江東区文化センターにおいて開催されました。

会長会に先立って新島会長より挨拶があり、今月初めに開催された関東スポーツ推進委員協議会理事会の報告、全国スポーツ推進委員連合総会の報告がありました。引き続きご来賓の東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部地域スポーツ振興担当課長 井内雅妃様からの挨拶、同部調整課課長代理の梅村様・小坂田様・北嶋様の挨拶、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会の佐藤様・藤田様の挨拶と続き、都スポ協の役員(会長、副会長、財務、監事、各委員長)の紹介がありました。

各市区町村の会長の自己紹介(地区、名前、会長歴)のあと、東京都からの情報提供、東京都障害者スポーツ協会・都スポ協リーダー委員会からの情報提供がありました。そのあと分担金(会費)の改定について話があり、賛助金に頼らない全会員による公平な費用負担で運営出来る様にしたいので現在2,500円の会費を3,000円にしたいとのことでした。

会長会は6グループ(A:千代田区・目黒区・北区・足立区・府中市・昭島市・小金井市・羽村市、B:新宿区・文京区・墨田区・板橋区・日野市・国分寺市・狛江市・稲城市、C:大田区・杉並区・練馬区・立川市・国立市・清瀬市・東久留米市・瑞穂町、D:江東区・品川区・世田谷区・武蔵野市・町田市・東村山市・あきる野市、E:台東区・渋谷区・豊島区・東大和市・武蔵村山市・西東京市・日の出町、F:港区・中野区・葛飾区・江戸川区・八王子市・三鷹市・多摩市、残念ながら中央区・荒川区・青梅市・調布市・小平市・福生市・檜原村・奥多摩町・島部の方は出席していただけませんでした)に分かれてグループディスカッションを行い、前もってアンケートを実施していた各区市町村のスポーツ実施率向上に向けた事業運営の現状と課題について報告、話し合いが行われました。その後、全体で内容の発表及び意見交換を行いました。今回も去年と同様にグループディ

スカッションになりましたが、参加者をいかに集めるか、またその移手段の確保、出向いてのイベントなどの実施、リピーターをいかに増やしていくか等各地の苦勞を知ることが出来ました。

会長会のあとに情報交換会が行われましたが、グループディスカッションの組み合わせと同じ地域とひざを合わすこととなり、そこでも活発な意見交換が行われ今後の活動に役立つ一日となりました。



記事 天野 長光 (渋谷区会長)

写真 稲垣 美保 情報委員会 (中野区)

研修会



交流ポッチャ大会

令和元年7月15日(月・祝)第1回スポーツ交流ポッチャ大会がおこなわれました。開会式は、田村事務局長の選手宣誓ではじまりAコートからDコートに各自分かれてゲームが始まりました。

総勢33名16チームの、ペア戦で各コート2位まで決勝トーナメント進出できるルールでした。

自分も、選手兼広報の取材をしなければいけないのについつい、ゲームに夢中になってしまい写真を撮り忘れたりしてしまいました。

ゲームの方は、のんびり和気あいあいと楽しく進み、終わってみたら情報委員会の入ってるチームが優勝、準優勝。そして3位決定戦で惜しくも敗れて4位になったチームも情報委員会のペアチームでした。次回第2回がある場合、各委員会対抗戦にすれば情報委員会が優勝するかもしれません。終わった後の懇親会も楽しく皆でポッチャ大会の話で盛り上がり楽しい1日です。

委員会同士では、顔と名前が一致できますが都スポ全体では、一致しづらいですが交流大会があれば全体の交流となりより絆が深まると思いました。次回も是非参加したいです。



記事・写真 大崎 太介 情報委員会(品川区)

各地区の情報



情報ひろば

【目黒区】

目黒区スポーツ推進委員は、「ひろげようスポーツ・人のわ・スポ進と!」をスローガンに、44名の委員で活動しています。

目黒区スポーツ推進委員が主催している「スポーツフェスタ」では、ポッチャ、ミニバレー等の体験会やチーム対抗試合を行い、毎年多くの方々にニュースポーツを楽しんでいただいています。

区主催の事業である「めぐろスポーツまつり」や、毎月区立体育館で行われる「スポーツ広場」等にも積極的に協力し、また今年の秋で4回目の開催を迎える「目黒シティラン〜健康マラソン大会〜」では、地域住民とともにコース各所でボランティアとして運営のサポートを行い、ランナーに熱い声援を送りながら大会を盛り上げています。

これからも東京都スポーツ推進委員協議会等が主催する研修会の参加に加え、目黒区スポーツ推進委員自ら研修内容を考える「全体研修会」「実技研修会」等を行

うことで資質向上に努め、区民の皆さんがスポーツを通して豊かな生活が送れるように、スポーツの素晴らしさを伝えていきたいと思ひます。



目黒区スポーツ推進委員協議会 東 誠

【北区】

北区スポーツ推進委員協議会は、全国に先駆けて平成23年度から大学生委員を加え、現在51名で活動しています。

平成30年1月には、区内で2つ目の総合型地域スポーツクラブ「コムスポたきのがわ」を設立し、スポーツ実施率向上に向けて様々な活動をしています。

スポーツ実施率が特に低い「生産年齢人口世代」をメインターゲットに、地区部会（王子、赤羽、滝野川）と、委員会（キンボールスポーツ、健康ハイキング、生涯スポーツ）を設けて自主的に活動を企画・運営しています。それぞれの活動における障害者の参加について検討を心がけています。

平成23年に区が実施したスポーツに関する区民アンケート調査で、北区地域スポーツコーディネーター（当時の呼称）の認知率は、名称のみも含め8.6%であったが、平成30年の同調査では20.1%に向上しました。イベントの準備ならびに運営、そして広報活動に注力してきた委員の努力が数字に表れたことを素直に喜びたいと思います。

キンボールスポーツ委員会の「北区キンボールスポーツ交流大会」、生涯スポーツ委員会の「スポーツ体験会」、健康ハイキング委員会の「ハイキング・ウォーキングイベント」を通じて、スポーツ実施率向上をはかるとともに、総合型地域スポーツクラブの設立に寄与するスポーツ種目への取組みを続けていきます。



北区スポーツ推進委員協議会 会長 二村正徳

【羽村市】

羽村市スポーツ推進委員協議会は、事業部・広報部・地域振興部で構成され、市教育委員会から委嘱された17名のスポーツ推進委員で活動しています。

年間事業は、健康・体力づくりを推進する「フィールドゴルフ大会」「四季のウォーク」をそれぞれ春と秋に、青少年育成事業として「小学生ドッジボール大会」を12月に主催・共催事業として取り組んでいます。

「フィールドゴルフ大会」は、羽村市独自のニュースポーツとしてルール策定やコース作成を行い、参加者の皆さまが楽しみながら競技できるよう工夫を重ね、今年の春で56回大会を迎えることができました。近年は、初心者の方が競技を始めるためのきっかけづくりとして、初心者講習会を新たに開催しています。

「四季のウォーク」は、年に2回都内を中心に四季の移ろいを感じられる名所・旧跡のコース選定し、5km程度のウォーキングを楽しんでいただいております。さらに今年度は新規事業として、市内でも手軽にウォーキングに取り組めるよう「羽村市ウォーキングマップの

作成」を予定しています。

これからも子どもから高齢者、そして障害のある方が、手軽にスポーツ活動に参加できるような事業の企画・運営を心掛け、活動してまいります。



四季のウォーク

羽村市スポーツ推進委員協議会 広報部長 板垣 毅

【東村山市】

東村山市スポーツ推進委員会は、現在 19 名で活動しております。

今年度よりボッチャをスポーツ推進委員会の自主事業として、小学校、高齢者施設、地域のスポーツ団体などへ、スポーツ推進委員が出向いて教室や講習会を展開しております。また、スポーツセンターを月 2 回、一般開放し定期的な教室も開催しております。

ご承知のとおり、ボッチャはパラリンピックの競技種目ではありませんが、手軽で無理なく動けるスポーツであるとともに、頭脳戦の競技でもあり、障害のあるなしに関わらず老若男女を問わずともに楽しめる競技でもあります。

当市では、市内の小学校 1 校が東京都のボッチャ応援校に指定されており、先般実施したオリパラ 500 日前イベントにゲスト出演していただき、参加した市民の方とチームを組み、児童たちが戦術を教えたりと、多世代交流にも一躍を担っていただきました。

今後色々な場面でボッチャ競技を浸透させ、市民の皆様が運動を始めるきっかけづくりになればと考えております。



東村山市スポーツ推進委員会 会長 鈴木克也

編集後記

平成から令和に代わり、初めて発行される「東京都スポーツ推進委員会だより 118 号」も皆様のご協力により無事発行できましたこと、厚く御礼申し上げます。

東京 2020 オリンピック・パラリンピックまで、いよいよ一年となりました。チケットの販売も始まり観戦も楽しみですが、何かしら大会の力になりたいと考えておられるスポーツ推進委員の方も多いのではないのでしょうか。

情報委員会一同、力を合わせて頑張りますので、今年度もよろしくお願いたします。

編集 平野 秀夫 情報委員会（江戸川区）

#####